

学校教育目標：よりよく生きぬく釜っ子《よく考える子・たくましい子・思いやる子》

# 釜小だより

瑞浪市立釜戸小学校 学校だより NO4

令和 6年 6月28日(金)

7月 校長 山田 隆二

## 「よりよく生きぬく釜っ子」

先日、子供たちに「これからの時期で怖いのは熱中症」と話し、熱中症にならないように「危険から自分を遠ざける」=【命を守る子】の説明をしました。

「まず、熱中症計で外がどのような状況なのかを知ること。次に、基準となる数字を見て、外で遊ぶのかどうかを判断すること。判断したら実行すること。」について話しました。

翌日から熱中症計や、養護教諭が掲示している「暑さ指数」の表示を見る子供たちが増えました。高学年になると暑さ指数が31を超えたら要注意（外遊びは控えた方がよいという判断が妥当）。33を超えたら運動中止という指針がわかるようになりました。健康ピカピカ委員会の子たちに、「熱中症計を見て、判断を間違っただけの子たちがいたら声をかけてね。」とお願いしました。学校は子供に力を付ける場所です。健康な体づくりももちろん大事ですが、命を守る力も大事です。命を守るための判断基準を身に付けていることが一番大事です。学校ではそれをきちんと教えます。

加えて、梅雨が明けると急激に気温が上がります。気温や湿度（暑さ指数）だけで熱中症になるとは限りません。低い気温でも、夜更かしをしたり、朝ごはんを十分に食べてこなかったりすると熱中症になります。また、持ち前の「自力」も関係があります。同じ場所で遊んでいても熱中症になったり、ならなかったりするのはそれらが理由です。各ご家庭では、十分な睡眠、栄養のある食事をお願いします。家庭・学校がそれぞれで役割を果たすことによって、子供たちがよりよく生きぬく力を身に付けられるようにしたいと思います。

## コミスクの活動のことを家で話しましたか？

今年もコミスクの活動が盛んに行われています。子供たちは寄り添って教えてくださる地域の方に感謝しながら、安心しきった空間で学習を進めています。できたことに対して一緒になって喜んでいただき、難しいことに親身になって目と耳と心を傾けてくださる方が本当に多く、私たち教職員も、子供たちと一緒に大変喜んでます。今年は、そのことを家で話すように取り組みます。まだ、慣れていないかもしれませんが、その日にあったことを講師の方のお名前を交えて話せるようにしていきます。ホームページに以下のことをあげてありますので、保護者の皆様もご覧になっていただき、お子さんに質問していただいても結構です。ぜひとも地域の方がお子さんに教えてくださっている様子を聞いていただければと思います。そのことで、子供たちに感謝の気持ちや表現力のことを褒めていただくありがたいと思います。褒められることで「また話したい」と実感し、何歳になっても、何でも話す子になると思います。※コミスク以外にも色々掲載してあります。

### <コミスクの取組に関わるHP>

4月25日 自転車・交通安全教室	5月12日 第1回資源回収	5月13日 第1回学校運営協議会
5月13日 和太鼓教室	5月14日 まち探検	5月16日 野菜を育てよう
5月17日 草取りボランティア	6月5日 カワゲラウォッチング	6月6日 花を植えよう
6月7日 大豆を育てよう	6月26日 ソーイング 玉結び、玉止め	今後も掲載していきます



暑さ指数を教える6年生

